

'68万国博覧会 へミスフェアを開催

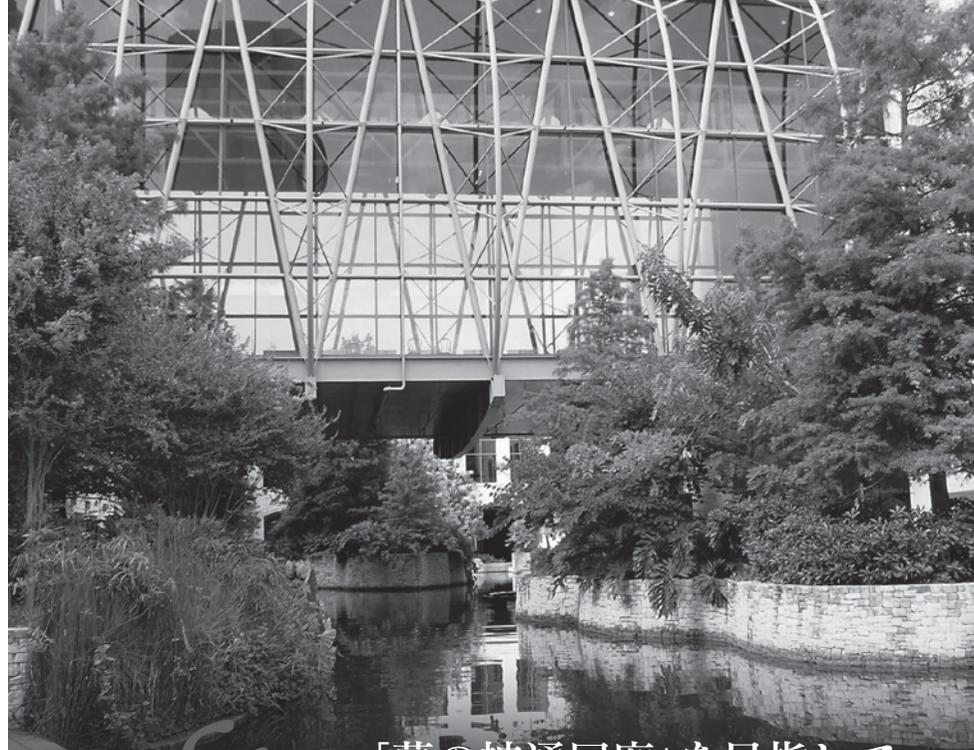
商業の栄えるリバーウォーク実現のため、ビジネスリーダーたちは市と商工会議所に働き掛け、開発計画への融資をとりつけました。外部の専門家によるデイズニールランド構想は退けられ、全米建築学会サンアントニオ支部が基本計画の立案を任せられ、地元状況にマッチした計画がつけられました。

例えば、騒音については、3つのレベルのゾーンが設定されました。また観光客誘致のため、毎月祭りをやることが提案されました。そして

「リバーウォーク委員会」が設立され、川の個性を守るべくゾーンの規制を行なうようになったのです。1964年「パセオ・デル・リオ協会」が地主と事業主により設立され、自分たちの利益を代弁し、川の推進にあたりました。

これまでの基礎的努力を結集させるきっかけが、1968年にやって来ました。「'68万国博覧会へミスフェア」の開催です。その準備には、リバーウォークの大整備も含まれていました。

「'68万国博覧会へミスフェア」の会場やホールの建設により、大きなコンベンション産業への基



「夢の神通回廊」を目指して

サンアントニオ・リバーウォーク 川の街誕生物語 ③

リバーウォーク チャンス到来

神通川直線化100年記念、「川と街づくり国際フォーラム」開催から5年。「夢の神通回廊」プロジェクト実現に向け、アメリカ・サンアントニオ市のリバーウォークなどの公園管理者、リチャード・ハード氏の講演内容を連載する第3回！



リバーウォークは大ヒットとなった。魅力的で、静か、ユニーク、清潔で緑豊かな雰囲気、心をなごませてくれる。



68年に万国博覧会(ヘミスフェア)が開催された時、リバーウォーク沿いにコンベンションセンターや、「タワー・オブ・アメリカ」が建てられた。

礎が築かれ、今日、市では年間300の会議が開催され、50万人以上の代表者がやってきます。右後ろに見えるのがこのフェアのためにつくられた「タワー・オブ・アメリカ(写真右)」です。高さは230mで、最上階には回るレストランがあります。

コンベンションセンターは、2002年に修理拡張されました。センターへの水路が延長され、草木が植えられ、川の中に島もつくられ、より自然な景観をなしています。このビルの改装は、経費約21.8億円、工期6年のコンベンションセンター拡張プロジェクトでした。既存の展示スペースや、会議室の改装や、拡



コンベンションセンターに至る新しい川が、湾曲部に延長して作られた。ヒルトンホテルの建設が急ピッチで進められている

ラ・コクレル・シアター」もあります。船がこの中に入って行き、そこで方向転換して、また戻ってくるという仕掛けになっています。新しいコンクリートの川が、湾曲部に延長して作られました。これは12億円の連邦輸送補助金でまかなわれ、この延長により、遊覧船で新しい展示ホールまで行ける

大などが行なわれしました。この拡張により、総床面積は2倍以上になり、約40万平方メートルで、その中には67通りに分割できる会議スペースもあります。コンベンションセンターには、座席数2,500席、舞台芸術上演のための「リ



ガラス張りのリバーセンターは、新しい水路を取り囲むように作られた。真ん中には島が作られ、ステージではコンサートが行われたり、リバーパレードの見物席にもなる

ようになりました。完成時には、石やコンクリートが多すぎ、草木が十分でないとな々から苦情がでました。

しかし、今日では草木がうまく成長し、コンクリートの壁は目立たなくなっています。

ヘミスフェアにより、20年ぶりに新しいホテルも建てられました。これは地中海様式建築のラ・マンシオン・デル・リオ・ホテルです。

このヒルトン・ホテル（写真下）も、ヘミスフェアのためにつくられました。博覧会のオープニングに間に合わせるために、プレハブ様式が使われ、記録的な速さで完成しました。コンクリートの部屋は他のところでつくられ、クレーンで運びあげられました。部屋にはベッド、化粧台、ランプもすでにおかれ、あと必要なのは、

配管と電気の工事だけでした。この二つの新しいホテルが湾曲部の両端にできたことで、歩行者が絶え間なく行き来するようになりました。また、建物の所有者は、川のレベルの地下に穴をあけ、レストランへの入口を川の方へ向けて作り始めました。

ヘミスフェアは、万国博覧会としてはまあまあ成功でしたが、リバーウォークは大ヒットで、その後数十年にわたる開発のきっかけになりました。当時の来訪者アンケートでも、リバーウォークが人気のひとつであった事がわかります。

この人気に乗じて、市は川を地域や全国に宣伝始めました。そしてコンベンションビュローが市につくられ、新しいコンベンションセンターへの誘致をはじめました。



'68万博(ヘミスフェア)のオープニングに合わせるため、ヒルトン・ホテル500室が、わずか307日の工期という記録を作って5月8日に完成した

1970年代、市やリバーウォークへの来訪者が増えはじめ、ヘミスフェアの際につくられたこの二つのホテルは、非常に高い稼働率をあげました。これにより、さらにホテルの建設が進み、マリオットが1978年にコンベンションセンターの近くにつくられました。そしてこのプロジェクト促進のため、ホテルはリース料の安い市の所有地に建てられました。1981年には新しいハイアット・リージェンシー・ホテルが、第3セクター開発プロジェクトの一環として建てられました。ここがハイアット・リージェンシー・ホテルの入口です。

ホテル建設の促進のため、市は12億円の連邦政府補助金を得て、道路レベルから5メートル低い川のレベルに、アトリウムと水路を建設しました。その結果、観光客

はこの「パセオ・デル・アラモ」を通って、アラモ砦に行けるようになりました。

市の所有地の上に、30階のハイアット・リージェンシー・ホテルが建っているわけです。したがって、これは第3セクターのプロジェクトで行なわれました。

新しい水路がコンベンションセンターの反対側に建設された。川辺のリバーセンターモールは、デパートを中心に100以上の専門店、映画館が入り、リバーウォークに新たな魅力を作り出すことになった



ベンチャーが川辺に集まってきた

ベンチャービジネスは、みんな川辺を好みました。企画委員会が、地元の買物客が戻ってくるように、市の中心部にモール建設を提案したとき、場所としては川辺を薦めました。

この実現のため、ヘミスフェアのために作られた延長部を越えて、新しい水路の建設が必要になりました。20億円の公的資金で、市は新たに人工水路と橋を建設し、民間セクターが、リバーセンターモールと、1,000室を有するマリオット・リバーセンター・ホテルを建設しました。この水路の部分は、市の建設です。橋もそうです。そしてその周りは民間のセクターによって開発されました。1,000室もある非常に大きなホテルが建てられています。

リバーセンターには、デパー

トを中心に100以上の専門店が入り、アイマックスの映画館もあり、非常な成功を収め、リバーウォークの新たな魅力になっています。そして、島の上には、催し物のステージとして使えるところがあります。定期的にコンサートが行なわれています。また、リバーパレードの際には、絶好の見物席になります。

プレシデオ開発は1993年に始まりました。店が川に面するように、道路は川のレベルになるよう5m掘り下げられました。

そしてこの通りが5m掘り下げられ、リバーウォークのところまで位置が下がり、レストランやお店のスペースができてきたわけです。

66

